

# きつき 市議会だより

「決めているのは、杵築のこれから」

2026

8

No.81

## Topic

・議会ってなんだ？ ..... P.2

その他

・新副議長就任 ..... P.14

・行政視察の報告 ..... P.15

## 議会ってなんだ？

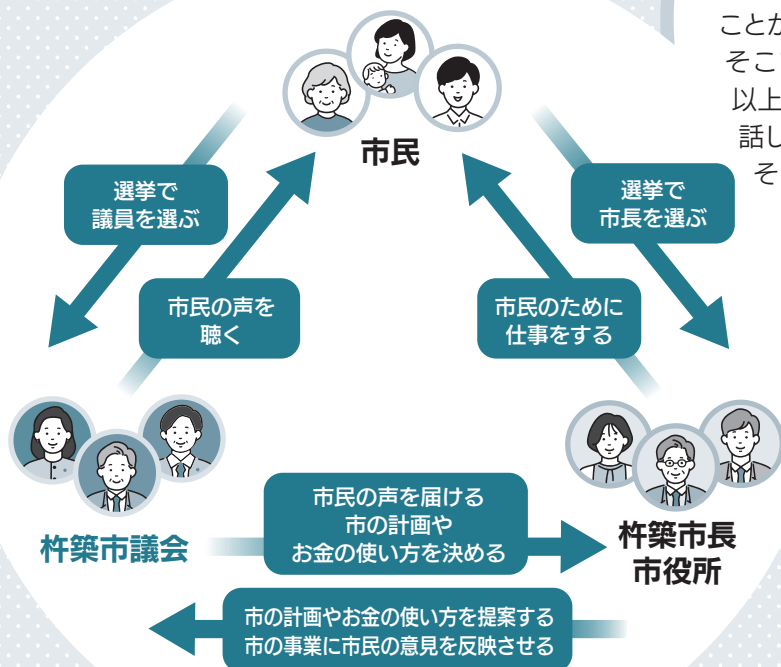
知っているようで知らない。  
杵築市議会を解説

### 市民の代表が集まる場所

私たちが住むこの杵築市を、もっと快適に、住み心地の良いまちにするには、どうすれば良いのでしょうか。

市民約2万5千人のみんなで集まって話し合うことが理想ですが、それは現実的ではありません。そこで、18歳以上の市民が選挙をして、25歳以上の立候補者の中から皆さんの代表を選び、話し合うことにしています。

その代表者を「市議会議員」、そして市議会議員の集まりを「市議会」といいます。

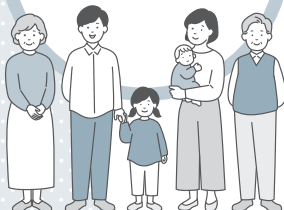


### 市議会が担う役割



市議会は、皆さんの代表として、市長あるいは議員から提出された条例・予算などを審議し、本会議や委員会などで話し合います。また、市の事務が適正に行われているか監査・チェックし、市長に対し意見を述べ助言を行います。市長は、それらをもとに、より一層暮らしやすいまちにするため、多岐にわたる事業などを実施します。

### あなたの意見の伝え方



#### 請願

要望などを記載した請願書を議会に提出するもので、提出にはその内容に賛同する議員の紹介が必要です。

#### 陳情

行政や議会などの公的機関に、実情を訴え、必要な措置を要望するもの。「請願」と異なり、紹介議員は必要ありません。

## 議決結果表

※案件名は、一部省略し掲載しています。

| 議案番号          | 案 件 名                                           | 採決結果 |
|---------------|-------------------------------------------------|------|
| <b>市長提出議案</b> |                                                 |      |
| 29            | 令和8年度杵築市一般会計補正予算（第2号）                           | 可決   |
| 30            | 杵築市印鑑条例の一部改正について                                | 可決   |
| 31            | 杵築市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正について                     | 可決   |
| 32            | 杵築市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について | 可決   |
| 33            | 杵築市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部改正について        | 可決   |
| 34            | 杵築市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について        | 可決   |
| 35            | 杵築市水道事業の設置等に関する条例の一部改正について                      | 可決   |
| 36            | 財産の無償貸付の追認について                                  | 可決   |
| 37            | 辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について                        | 可決   |
| 38            | 波多方トンネル直販所「いちみらんかえ」の指定管理者の指定について                | 可決   |

| 議案番号            | 案 件 名                                                      | 採決結果 |
|-----------------|------------------------------------------------------------|------|
| 39              | 市道の路線廃止及び路線認定について                                          | 可決   |
| <b>市長追加提出議案</b> |                                                            |      |
| 40              | 令和8年度杵築市一般会計補正予算（第3号）                                      | 可決   |
| 41              | 杵築市消防団員等公務災害補償条例の一部改正について                                  | 可決   |
| <b>議員提出議案</b>   |                                                            |      |
| 2               | ゆたかな学びの実現・教職員定数改善と義務教育費国庫負担率2分の1復元をはかるための、2027年度政府予算に係る意見書 | 可決   |
| 3               | 2026年度最低賃金の改正等に関する意見書                                      | 可決   |
| <b>付議事件</b>     |                                                            |      |
|                 | 閉会中各委員会の継続審査について                                           | 可決   |
|                 | 議員派遣について                                                   | 可決   |

### 令和8年度一般会計補正予算

**3 億 2,866 万 5,000 円を追加**  
補正後の予算 **199 億 7,391 万 5,000 円**

### 補正予算の主な事業

|                                                                      |              |
|----------------------------------------------------------------------|--------------|
| <b>物価高騰対策事業（第2弾お買物券）</b><br>全市民に対し1人5,000円分のお買物券を配布（10月中旬配布予定）       | 1 億 4,260 万円 |
| <b>物価高騰対策事業（第2弾プレミアム商品券）</b><br>30%のプレミアム商品券を販売（10月上旬販売予定）           | 1 億 1,460 万円 |
| <b>小学校施設整備事業</b><br>東小学校屋内運動場（体育館）の改修工事の施工に向けた実施設計業務を委託              | 1,372 万 5 千円 |
| <b>子育て・高齢者世帯リフォーム支援事業</b><br>三世代同居のための改修工事や高齢者のバリアフリー改修などに係る費用の一部を補助 | 125 万円       |
| <b>集落支援員設置事業</b><br>大田郵便局と連携し、集落支援員を配置することで、見守り活動や買い物支援の体制整備を行う      | 29 万 7 千円    |

### 主な議案

#### 波多方トンネル直販所「いちみらんかえ」の指定管理者の指定について

施設の指定管理者を「いちみらんかえ波多方」に指定することについて、地方自治法第244条の2第6項の規定により、議会の議決を求めるもの

#### 市道の路線廃止及び路線認定について

生地支線の路線廃止と生地支線とフケ線の市道認定をするため、道路法第10条第3項及び第8条第2項の規定により、議会の議決を求めるもの

※3月議会において請願として提出され、採択したものです

# 一般質問

どうする杵築？市政を問う！



Q … 質問

A … 回答

R … 要望など

一般質問の動画を公開しています

スマートフォンやタブレットで二次元コードを読み取ると一般質問の動画をご覧いただけます。

日程：令和8年6月16日、17日、18日

16人の議員が、市政に関する諸課題について一般質問を行いました。

| 質問者   | 質問の要旨                                                                                       |
|-------|---------------------------------------------------------------------------------------------|
| 渡辺 雄爾 | ・ハーモニーランド拡張計画について                                                                           |
| 小春 稔  | ・清和病院について<br>・柑橘振興について<br>・きつき茶の栽培状況と対策について<br>・文化財の継承について                                  |
| 酒井 健太 | ・このまちの市有財産について<br>・刷新したLINEの現状<br>・ふるさと納税のポータルサイトの手数料問題について<br>・部活動・地域クラブの送迎について            |
| 堀 典義  | ・水産業の振興について                                                                                 |
| 坂本 哲知 | ・職員の採用状況等について<br>・健康福祉センター多目的ホールについて<br>・市有財産の利活用について<br>・杵築市立山香病院について<br>・中東情勢の悪化による影響について |
| 小野 義美 | ・高齢者福祉について<br>・農業振興について                                                                     |
| 岩尾 育郎 | ・災害井戸について<br>・トイレトレーラーの配備について<br>・少子化対策について                                                 |
| 田原 祐二 | ・高齢者への対応について<br>・市の観光について<br>・地域インフラ群再生戦略マネジメントについて<br>・5歳児健診の重要性について                       |

| 質問者   | 質問の要旨                                                                          |
|-------|--------------------------------------------------------------------------------|
| 二宮健太郎 | ・杵築市立東小学校の体育館屋根の不具合と今後の修繕計画について<br>・選挙の電子投票制度導入について<br>・老人クラブに対する助成金申請の簡素化について |
| 船尾はるな | ・熱中症対策（クーリングシェルター）について<br>・自衛官募集に係る住民基本台帳情報の提供について                             |
| 加来 喬  | ・ナフサ対策について<br>・気候変動について<br>・物価高騰と経済について<br>・J R 杵築駅前の開発について                    |
| 多田 忍  | ・地域公共交通について                                                                    |
| 田中 正治 | ・令和8年度当初予算について<br>・道路の通行区分帯について<br>・急傾斜地崩壊対策事業について                             |
| 真鍋 公博 | ・健康づくりについて<br>・文化施設の今後の活用について<br>・防災会議等について                                    |
| 木元洋一郎 | ・「誰ひとり取り残さない、多様な学びの場」の実現について<br>・山香温泉「風の郷」について                                 |
| 工藤壮一郎 | ・山香・大田地域のケーブル線の光化について<br>・城下町の観光とお祭りについて                                       |



## ハーモニーランド拡張計画について

**Q** 昨年12月、ハーモニーランドのリゾート化に着手すると発表され、新たに30haのリゾート化に向け用地取得なども完了後、着工となるが、ハーモニーランドの標高と傾斜は明確に本市の八坂川流域に向いている。本市の水源である八坂川の水質への影響はないのか。

**A** ハーモニーランドからの排水は専用の排水管を環境浄化センターまで敷設し、そこで環境浄化センターの排水管に接続、そのまま下流に放流している。

**Q** 大規模リニューアル計画は入園者200万人規模になるということだが、污水、雨水量の増加も考えられるが。

**A** ハーモニーランドは、水質汚濁防止法に基づき、特定事業場に該当する。国が定める一律の排水基準よりも厳しい県独自の上乗せ基準が適用される他、汚濁物質の総量規制の対象ともなっている。

**Q** これほどの大規模な拡張事業を行政として万全を期す必要があると思うが。

**A** 上下水道課として、引き続き事業計画の進捗を注視するとともに、事業者に対して法令遵守の徹底を環境部局をはじめとする関係各課と緊密に連携して強く求める。

**Q** 大規模な拡張計画を市はどのように杵築市の発展につなげていくのか。

**A** 杵築市全域の賑わい創出につながる大きなチャンスである。ハーモニーランドへの来訪者を市内へ誘導し、城下町、海岸部、るるパーク、風の郷、横岳などへの回遊性と滞在時間の延長を図り、通過型観光から滞在型観光へ転換し、地域経済の活性化へつなげる。その他地産地消の取り組みや包括連携協定、フレンドシップ宣言によるさまざまな取り組みを通じて、杵築全域ににぎわい創出と持続可能な地域の活性化につなげたい。

**R** 今杵築で一生懸命商売をされている地元の方々がハーモニーランドにアンテナショップを作らせてもらうことを期待する。



## 柑橘振興について

**Q** 杵築市は1,600ha、36,000tの大産地であった。現在推定150ha、2,500tに満たない減少傾向が続いている。柑橘振興について行政としての対策は。

**A** 新規就農者の受け入れや、おおいた園芸産地づくり支援事業を活用し、施設の整備や機械の導入などを支援している。産地を守り、拡大していくため、生産者、県、農協など関係機関と連携し、柑橘振興に取り組む。

**Q** 行政と農協が一体となって、柑橘振興計画を策定して推進すべきではないか。

**A** 現在、杵築市では、農業振興計画を策定しており、農協においては果樹産地振興計画をもとに柑橘を含んだ振興計画が策定されている。行政として支援できる施策を積極的に講じ、県や農協などの関係機関と連携して生産技術の向上支援、新規就農者の確保、育成、農地の集約化、団地化などの有効活用、さらには杵築ブランドなど新品種の導入など柑橘産地の振興に向けた取り組みを一体的に推進していきたい。

## きつき茶の現況と振興について

**Q** きつき茶は、県下最大の産地であった。今は荒廃園が目立つ。現在の栽培面積、放任や荒廃している面積は。

**A** きつき茶生産組合が関わる茶園は、ここ数年大きな変動はなく、栽培面積は約7haである。荒廃している面積は約10haとなっている。

**Q** 半分以上が放任、荒廃しており、改植計画はあるのか。

**A** 現在、具体的な改植計画はないが、きつき茶のブランドを維持するために、きつき茶生産組合や生産者と情報を共有し、改植が必要な場合には、県や関係機関と連携し、取り組みたい。



さかい けんた  
酒井 健太  
(新生きつき)



ほり のりよし  
堀 典義  
(耆五一会)



## このまちの市有財産について

**Q** 未利用の公有地や公共施設などの市有財産を、市民に向けて公開しないのか。

**A** 情報を市民に公開したいと考えているが、現時点では公開までに至っていない。まず、庁内における利活用の可否を確認し、財産の状況や利活用の可能性を整理した上で、情報をまとめ、公開を行っていきたい。

## 部活動・地域クラブの送迎について

**Q** 部活動において子どもたちの安全は最優先事項だが、杵築市においては移動の課題が表面化してきている。特に山香地域の中学生は、合同チームに入っているのに、平日は人が少ない状態で練習をするしかない。そこで、部活動の指導員などが研修を受けて、安全をしっかりと担保した上で市のバスを借り、子どもたちを送迎することは可能か。例えば、指導員が市のバスで山香中で待機し、合同チームに入っている生徒を練習会場まで送迎するということはできないか。

**A** 現時点では部活動指導員が市のバスを借りて生徒を送迎することはできない。部活動の地域展開においては、指導者や受皿の確保と、生徒の移動手段が大きな課題であることは認識している。今後も課題解決に向けて、他市の取り組みを参考にしながら、関係課と連携し、検討を進めていく。

**R** 子どもたちの部活を頑張りたいという気持ちは地域の未来そのものである。杵築市として、子どもの意欲は何が何でも大切にしなければならぬ。人口減少が進む中でも知恵を出し合って、子どもたちが挑戦できる環境を、地域全体で考えて守っていききたい。

### その他の質問

- ・杵築市公式 LINE について
- ・ふるさと納税について

## 守江湾のカキ生産について

**Q** 現在の養殖場の改善や湾外移転は。

**A** 現在の簡易垂下式カキ養殖は、ほかの養殖方法に比べ資材コストが安いことが特徴。長年の養殖に伴う底質環境の変化や近年の高水温などにより今後は、生産場所や生産方法の見直しも考えられるが、資材コストの増加や養殖区画を一時的に撤去するなどの課題もある。

## アサリの再生について

**Q** これまでの取り組みについて。

**A** 現在の網袋・被覆網などを用いた母貝の量産方法が確立後は造成母貝団地の維持管理を中心に行っている。この成果として、母貝団地ではアサリの現存量が14t程度確認されている。

**Q** アサリ再生の目標について。

**A** アサリ漁獲量の目標を激減以前の40tに設定した場合、資源量は単純計算でアサリ母貝の量として120t程度の確保が必要である。

**Q** アサリの量産化とブランド化について。

**A** 今後は、より量産化に向けた効率的な生産体制を目指したい。また、本事業で生産されているアサリが、「きつき城下アサリ」として杵築ブランドに認定を受けたので、今後はアサリの実入りの向上など、品質の向上にも努めていきたい。常温真空パック商品については、出荷コスト、販売金額などを調査し、検討したい。

**Q** 今後のアサリ生産の展望について。

**A** 漁協や第三セクターなどもその受入先の一つだが、今後は収入源として成り立たせるため極力作業負担を減らすなど、調査・検討したい。

**Q** アサリ再生への市民参加について。

**A** 現在アサリの生産などの活動を行っている「守江湾干潟保全の会」という組織があるが、この組織は一般の方の参画も推奨されている組織である。今後より広く市民の協力を頂きながらアサリを増やす取り組みを進めることも視野に入れ、活動の広報などを推進していきたい。



## 杵築市立山香病院について

**Q** 外来・入院の利用状況は。

**A** 令和7年度の外来患者数は、延べ49,877人で前年度比545人の減少。入院患者数は、延べ46,002人で前年度比3,141人の増加。

**Q** 外来患者は減少したが入院患者は増加した。経営状況は。

**A** 令和7年度決算は、人件費の増加や医薬材料費の高騰などで最終的に赤字となる見込み。

**Q** 経営改善に向けた取り組みは。

**A** 整形外科医や高度な内視鏡処置が可能な消化器内科医の常勤化、週1回麻酔科医の派遣による手術件数、検査・処置件数の増加を図る。病院職員が一丸となり収益確保、経費削減、業務効率化を進め、地域医療を守りながら安定した病院経営を目指す。

**Q** 病院の建て替え問題は。

**A** 病院建て替えの方向性については、具体的な結論には至っていない。

**R** できるだけ早く方向性を示してほしい。

## 中東情勢の悪化による影響について

**Q** 食料品などが値上がりをしているが市の支援策は。

**A** 国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、第2弾の全市民へ5千円分のお買物券を配布、30%のプレミアム商品券事業などを実施予定。

**Q** ナフサ不足の長期化で家庭用のゴミ袋は足りているか。

**A** 昨年度と同等の発注量であれば、確保は可能。

**Q** 家庭用のゴミ袋の値上げは。

**A** 現在のところ値上げの予定はない。将来的には、国際情勢や市場の動向を踏まえて杵築市廃棄物減量等推進審議会で審議したいと考えている。

\* 5千円分のお買物券の配布は10月中旬の予定、プレミアム商品券の販売は10月上旬の予定。

## 高齢者福祉について

**Q** 高齢化社会、高齢社会の定義は。

**A** 総人口に占める65歳上人口の割合である高齢化率が7%を超えた社会を高齢化社会、14%超えを高齡社会、21%超えを超高齡社会。

**Q** 杵築市の高齡化率は。

**A** 令和8年4月現在で市全体では39.97%、杵築地域では36.37%、山香地域では49.82%、大田地域では55.82%である。

**Q** 老人クラブ数、加入年齢、活動は。

**A** おおむね60歳以上が加入する組織で、「健康」「友愛」「奉仕」の活動に取り組む。令和6年度29クラブ996人。令和8年度は23クラブ793人である。

**Q** 一人暮らし高齢者数、その支援は。

**A** 令和8年4月現在で1,712人で、杵築地域1,137人、山香地域468人、大田地域107人で見守りや安否確認体制の充実を図っている。

**Q** 買い物、通院支援は。

**A** 市社会福祉協議会が移動販売を週5日、令和7年度は242日運行、山香病院の送迎が2,893人になった。

**Q** 高齢者からの相談窓口は。

**A** 全世代支援センター「まるっと」である。高齢者サロンや訪問などで相談支援体制の充実に努めている。

## 農業振興について

**Q** 市内の農家数は。

**A** 最新の統計では1,196戸で、5年間で369戸の減少である。

**Q** 専業農家数は。

**A** 農業所得が50%以上を占める農家は176戸で、5年間で114戸の減少である。

**Q** 農産物生産組織数は。

**A** 県農協東部エリアで約45団体が組織されている。

**Q** 市の新規就農者の部会への勧誘は。

**A** 市ファーマーズスクールなどの実施要領においてその生産部会に加入要件として定めている。

**Q** JAとの連携は。

**A** 農業施策の推進にあたりJAとの連携は重要であり継続して取り組んでいる。

**Q** 燃料費、資材の高騰支援は。

**A** 物価高騰による農林水産事業者の負担と軽減をするため、経費に対して補助金を交付する事業に取り組んでいる。



## 災害井戸について

**Q** 災害井戸（災害時協力井戸）の取り組み状況は。

**A** 現在、大分県薬剤師会の協力を得ながら、生活用水を確保する目的で、個人や事業所が所有する井戸で、災害時に開放していただける井戸の登録をお願いし、登録いただいた井戸については公開する「災害時協力井戸登録制度」の整備を進めている。7月から募集を開始し、応募のあった井戸の現地調査・水質検査を行い、令和9年3月には登録井戸が掲載された地図を市内全戸に配布する予定。

## トイレトレーラーについて

**Q** トイレトレーラーを国の責任において各自治体に配置し、国の一元管理のもと、大災害時での統制のとれた運用ができるよう、市長会を通じて国に働きかけてもらいたい。

**A** 各市町村と連携をとりながら頑張ってみよう。

## 少子化対策について

**Q** 近年の出生数の推移は。

**A** 令和3年度が111人、4年度が125人、5年度が107人、6年度が84人、7年度が84人（杵築地域74人、山香地域9人、大田地域1人）となっている。

**Q** このような状況にあって、今までも市長の答弁からは危機感といったものが全く伝わってこないが。

**A** 非常に危機感を持っているが、市単独ではなかなか難しいと考える。国の施策が本当にがらっと変わらないと。

**Q** 国の施策は全国一律になるので、今の状況が変わるとは思えない。杵築市としての特色を出すべきだと考える。他の自治体とパイを食い合うような話になるかもしれないが、それに勝たないと今の状況を打破することはできないのでは。

**A** 危機感を持って今やらなければ厳しい状況になることはよくわかっている所以で全力で頑張っていきたい。



## 5歳児健診の重要性について

**Q** 就学前の5歳児は社会性や集団行動の中で、特性が見えやすくなる時期でもある。この時期における支援の重要性をどのように認識しているのか。

**A** 5歳という年齢は、こども園などでの集団生活を通じて、3歳児健診までに把握しにくい周囲との関係性や、社会性に関わる課題が顕在化しやすい時期であると認識している。この時期は脳の発達が著しく、早期に適切な支援を行うことで、その後の成長に大きなプラスの効果をもたらすことが知られている。早期発見・早期支援は、子どもの将来にわたる生活の質の向上につながるものであり、本市としてもこの時期の支援を重要なものと位置づけている。

**Q** 今後、5歳児健診を国が推奨する1次健診から医師が健診を行う「<sup>しづかい</sup>悉皆健診」の導入について検討する考えはないのか。

**A** 実施にあたっては、医師をはじめ関係機関のさらなる協力体制が必要である。また5歳児健診においては集団での関わりを観察するという性質上、実施体制の整備にも一定の課題があると認識している。なお、県においても、今年度、市町村に対して5歳児健診の在り方に関するヒアリングを実施するなど、県全体での検討が進んでいる。県や県内他自治体の動向も注視しながら、子どもや保護者が安心して就学を迎えることができるよう、より良い方法を検討したい。

**R** 支援が必要な子どもを見逃さない観点からも、対象を限定した方式にとどまらず、将来的には、全ての子どもを対象とした5歳児健診へと発展させていくことが望ましい。前向きな検討を願う。

### その他の質問

- ・高齢者への対応について
- ・市の観光について
- ・地域インフラ群再生戦略マネジメントについて

**?** <sup>しづかい</sup>「悉皆健診」とは  
対象年齢のすべての子どもに対し、健診を行う方式。



### 東小学校体育館の早期復旧と環境改善

**Q** 4月に天井部材が落下し使用禁止となった東小学校体育館の復旧計画と、代替施設への児童送迎などの対応、避難所機能への影響は。

**A** 経年劣化が著しいため国の補助金を活用して大規模修繕を行う。エアコン設置を含めた熱中症対策も講じ、避難所や地域活動の拠点としても強化する。

### 若者の政治参加へ電子投票の導入を

**Q** 若年層の投票率低迷と、深夜に及ぶ開票作業の効率化・高齢化という課題に対し、バリアフリー化にも資する「電子投票制度」の導入を研究すべき。また、GIGAスクール端末を使った模擬選挙など主権者教育への活用は。

**A** 先進地では開票時間の大幅短縮や無効票根絶の成果がある。リスク管理を含め調査研究を進める。学校でのデジタル模擬選挙も選挙管理委員会と連携し研究する。

### 老人クラブの助成金申請を劇的に簡素化

**Q** 高齢役員の書類作成負担が重く、3年間で6クラブ、約200人もの会員が減少している。窓口の丁寧なサポートだけでなく、提出書類の簡素化や手続きの簡略化を進めるべきでは。

**A** 市においても深刻な状況。補助金の活動報告の簡素化や事務負担の軽減に努める。



### クーリングシェルターと熱中症対策について

**Q** クーリングシェルターは市内全域から利用しやすい配置となっているか。また、コミュニティセンターなどの活用や周知の強化を求める。

**A** 市内6施設を指定し、地域バランスは保たれていると考えている。コミュニティセンターの活用は関係課と協議する。熱中症一時休憩所も含め、広報誌やLINE、ケーブルテレビなどで周知を進める。

**R** 徒歩圏で利用できる地域施設の活用や、防災ラジオ、自治協・民生委員などとも連携した周知を進め、実際に利用される仕組みづくりを求める。

### 自衛官募集に係る住民基本台帳情報の提供について

**Q** 自衛官募集のための個人情報提供の法的根拠や提供内容、本人同意の有無、除外申請制度は。あわせて、情報提供の最小化や市民への周知を求める。

**A** 法令に基づき4情報（氏名・住所・生年月日・性別）を提供しており、本人の同意は得ていない。除外申請制度は広報きつきに掲載しており、今後はLINEやケーブルテレビなども活用して周知を進める。また、先進自治体を参考に、議員の皆さん方と意見交換を行い、資料も示しながら検討していく。

**R** 提供そのものを行っていない自治体や、住所・氏名のみの提供をしている自治体もある。自衛隊への協力と個人情報保護は両立できる。市民が制度を知り選択できるよう、実効性のある周知や情報提供・運用方法の検討を求める。





## J R 杵築駅前開発について

**Q** JR 杵築駅前の開発計画の内容は。

**A** JR 杵築駅周辺整備基本構想は関連する上位計画に基づき、市民の意見を計画に反映させるため、計4回、市民ワークショップを実施し、現在、課題の洗い出しやゾーンごとの整備方針の策定を進めている。今後は学識経験者らによる基本構想策定委員会での審議やパブリックコメントによる意見聴取を経て基本構想を策定する。

**Q** ハーモニーランドはいつホテル建設に着手し、いつ完成するのか。

**A** 具体的な着手時期や完成時期は公表されていない。

**Q** JR 杵築駅前の開発は杵築市のまちづくりでどのような位置づけか。

**A** 杵築市の活性化には JR 杵築駅周辺のにぎわいづくりが観光・交通において重要な役割を果たす。計画では、駅周辺に商業施設やカフェ、子育て支援機能といった生活に便利な施設を集中的に配置し、多世代が安心して過ごせる環境を整える。同時に JR やバス・タクシー網を再編・連携させることで周辺観光地や城下町、大分空港などへの移動がスムーズなハブ拠点としての機能を強化する。杵築市の玄関口や国東半島の玄関口としてにぎわいと利便性を備えた拠点整備の実現を目指す。

**Q** 駅の周辺に商業施設を作っても需要がなければ成立しない。ハーモニーランドの来場者で杵築駅の利用者数は。

**A** 正確な数字は取っていない。

**R** 杵築駅を利用している観光客が4倍になるのなら想像できるが、実数を把握していない。外国人も来るが、大分空港から杵築駅を通らない。実際の数字も、どうなるのかもわからない計画に賛同はできない。JR 杵築駅前の開発は、ちゃんとした数字を持って、いくらお金を注ぎ込むのか、市民に対して説明責任をきちんと果たしてほしい。



## 地域公共交通について

**Q** 12月議会で質問した「AI オンデマンド交通の導入の可能性」のその後は。

**A** コミュニティバス、乗合タクシーの利用状況や運行実績などを整理分析、人口減少や高齢化の状況、地理的条件などを踏まえ地域の移動ニーズや既存公共交通の課題を整理して、地域に適した公共交通体系の方向性について調査研究を行った。さらに他の自治体における導入事例や運行手法、運行経費などの情報収集を行い、山口県田布施町を視察した。

**Q** 杵築市地域公共交通活性化協議会に諮った結果は。

**A** 委員の皆さんからは、将来を見据えた公共交通の見直しが必要であることや、地域の実情を踏まえながら検討を進めてほしいといった意見が出され、地域の実情に応じた公共交通の再編に向けて地域公共交通利便増進計画を策定していく方向性について確認した。

**Q** 今後の予定は。

**A** 6月末に開催予定の杵築市地域公共交通活性化協議会において、地域公共交通利便増進計画の策定に係わる業務内容や進め方について協議。また関連予算を本定例会に提案しており、議決後は、選定委員会において委託事業者を決定し、計画策定に向けた調査などに着手する予定。

**Q** AI オンデマンド交通の導入時期は。

**A** 現時点においては導入時期や実施内容が決定していないが、来年度中の実証運行も視野に入れながら導入に向けた取り組みを進めていく。

**Q** 市長の考えは。

**A** 市民の皆さんが自由に移動できる環境づくりは極めて重要であると考えている。特に、高齢化率が既に40%の本市にとって持続可能な交通体系の構築、そして国の重点施策の一つとしている高齢者などの孤立防止に寄与する有効なものだと確信している。一日も早い実現を目指す。

た な か し ょ う じ  
田 中 正 治  
( 壱 五 一 会 )



ま な べ き み ひ ろ  
真 鍋 公 博  
( 令 和 会 )



## 令和8年度当初予算について

### Q 観光事業について。

A 市商工観光課観光係と観光協会で行き組む。今年度は観光客誘致の戦略を立て、観光協会が具体的な施策を実施し、グルメをテーマとした商品開発に行き組む。

### Q 人口減少対策事業は。

A 先進技術の導入と地域住民が主体となる取り組み、活力ある地域社会の実現を目指す。経済的支援、定住・移住支援、子育て環境整備、雇用環境整備、地域自治の強化など住み慣れた地域でいつでも安心して暮らし続けられる地域づくりを進める。

### Q 市民の健康づくり対策について。

A 各種健診を受診勧奨し、一人ひとりに合った健康づくりを支援する。「きつみんな体操」を活用し、支援する。「転倒しづらくなった」という声も聞く。

### Q 地域活力の創出事業とは。

A 市内13地区の住民自治協議会の活動を支援する。人口減少や高齢化の進行に伴う担い手不足、地域コミュニティ機能の維持が大きな課題で、これに取り組む。

### Q 移住・定住対策は。

A 移住・定住促進対策事業として、空き家バンク制度を活用して補助を実施する。近年移住者数は増加傾向にあるので、これまで以上に移住相談や情報発信を行っていく。

### Q 地域公共交通について。

A 地域住民の移動手段の確保は大事なこと。安心して暮らし続けられるよう地域を支える公共交通の維持確保に努める。

## 道路の通行区分帯について

### Q 車両の通行区分帯設置について。

A 県道大田杵築線、時間帯によっては右折車で渋滞も考えられるので、別府土木事務所状況に伝え、右折レーンの設置を要望する。

#### その他の質問

・急傾斜地崩壊対策事業について

## 健康づくりについて

### Q 杵築市の平均寿命は。

A 男性が81.94歳、女性が87.42歳。

### Q 今後の健康づくりの課題は。

A 身体を動かす習慣のある方が少ないこと、血圧の高い方が多いこと、子どものむし歯が多いこと、定期的に歯科健診を受けていない方が多いことなどが課題。

### Q 「教育立市宣言」は大きな効果があった。「健康しあわせ都市宣言」をしてはどうか。

A 「健康都市宣言」という形で宣言は行っていないが、将来像として「みんなで創り好きになる健康都市きつき」を掲げている。

## 文化施設の今後の活用について

### Q 旧興津家は今後どう活用していくのか。

A 今年度、みらい都市創生課が行う「城下町地区活性化調査委託業務」の結果を受けて、民間活力の導入の有無や施設の用途を検討する。

### Q 「杵築市歴史的風致維持向上計画」はどうなっているのか。

A 歴史上価値の高い建造物の保存を含め、歴史的風致の維持や向上を図る取り組み。杵築市は令和3年度に認定されている。県内は他に大分市、竹田市。

## 防災会議等について

### Q 災害やイベントなどに利活用されるトイレカーは軽トラを改造した車両。県内の導入状況は。

A トイレカーは、現在、大分県が6台、別府市が2台、中津市が1台導入している。今年度に、臼杵市が1台、国東市が1台導入予定。

### Q 大分市佐賀関の大火災を受けて、杵築速見消防組合や消防団と何らかの対応をしたのか。

A 5月26日に開催した市の防災パトロールでは、国、県の防災担当や自衛隊、消防署、消防団などの防災関係機関で、「危険な住宅密集地」指定地区の納屋地区を現地で確認し、延焼の危険性について共有した。

### R 関係各課が連携して、移住・定住対策、防災、防犯対策など、早急な空き家対策を要望する。

きも よういちろう  
木元洋一郎  
(無所属)



## 「誰ひとり取り残さない、多様な学びの場」の実現について

**Q** 出生数が100人を割り80人台となった杵築市について、令和5、6、7年度の出生数、人口の推移は。

**A** 出生数は令和5年度が107人、6年度が84人、7年度が84人。人口推移は杵築地域は令和6年3月末19,727人、7年3月末19,438人、8年3月末19,109人。山香地域は令和6年3月末5,747人、7年3月末5,577人、8年3月末5,407人。大田地域は令和6年3月末1,054人、7年3月末1,018人、8年3月末980人。平成28年度末から令和7年度末までの9年間で30代女性の減少率は42.3%となっており、特に若年世代の人口減少が出生数、人口の減少に関与していると考えられる。

**Q** 立石小学校の再利用について検討委員会を設置しているのか、立石地区の人たちの意見を聞く場を設けたのか。

**A** 検討委員会は設置していないが、杵築市公共施設等マネジメント推進委員会の中で検討を行いたい。立石地区の方からのご意見をいただく場は今のところ設けていないが、地元住民自治協議会の意見などもお伺いしながら検討を重ねていく。

**Q** ストリートバスケットコートについてどのような認識か。また、設置の効果、設置に向けての取り組みについて。

**A** スポーツを通じた交流や仲間づくりの効果、困りごとをかかえている児童・生徒への支援充実には一定の意義があると考えます。設置は多くの課題があり、実施は困難である。今後の方針としては、多様な学びの場の充実に向け、スポーツ施設の既存有効活用と計画的な整備を推進する。その際、市民の皆さんのご意見を広く拝聴し、ニーズや緊急性の高い施設整備へ重点的に注力していく。

### その他の質問

- ・教育支援センター「ひまわり」について
- ・山香温泉「風の郷」について

くどう そういちろう  
工藤壮一郎  
(令和会)



## 山香・大田地域のケーブル線の光化について

**Q** 今回、市が工事を実施し管理運営を行う「公設公営」ではなく、民間事業者がそれを行う「民設民営」での事業実施を選択した理由は。

**A** 民間事業者であれば安価で効率的な施設整備・運営が可能、災害時などの迅速な復旧も可能、また柔軟なサービス提供が可能となるなどの理由である。

**Q** 公募して決定した事業者名は。

**A** 旧大分ケーブルテレコム株式会社、現社名はJ:COMマーケティング株式会社大分支社である。

**Q** 整備期間とサービス開始時期は。

**A** 事業者の計画では令和8年度に国庫補助金を活用して幹線の整備を実施する予定。引込工事や宅内工事は令和9年度以降と聞いているので、9年度途中からのサービス開始となる予定。

**Q** 市の負担金は。

**A** 全体事業費、国庫補助金が確定していないため明確に答えられないが、現時点で整備費と管理費を合わせ7億5,200万円以内としている。

**Q** 利用者の料金の負担とサービス提供体制は変わるのか。

**A** 料金の支払い方法もサービス提供体制もこれまでどおりと変わらない。杵築地域とサービスが同じであるので、同じ条件、同じ料金となる。

**R** 今回のように思い切って民の活力を借りることは、今後大いに考えられる手法だと思われるので、活用を検討してもらいたい。

### その他の質問

- ・城下町の観光とお祭りについて

# 請願・陳情

採択

第 5 号

## 急激な農業生産資材の高騰に対する支援と農業用施設等に係る償却資産税の取扱いに関する請願

新規就農に際し、初期投資額の増加や農業情勢、併せて急な償却資産税の申告が重なり、とくに施設栽培を開始した新規就農者にとっては、大きな負担となっていることから、杵築市の基幹産業である農業経営の安定、後継者を含む新規就農者の定着を促進するため、市の支援を要望するもの。

■付託委員会 総務常任委員会  
■請願者 杵築市柑橘研究会、杵築野菜研究会、杵築いちご研究会、東部エリア花卉研究会、山香町野菜生産組合、畜産団体代表杵築畜産研究会

採択

第 6 号

## 市道編入について

弓町区内の該当の道路は、急傾斜土砂災害地区に指定されており、また、交通量も多く急病・火災・土砂災害などが発生した時に、対応ができない状況にあるため、市道への編入を要望するもの。



■付託委員会 産業建設常任委員会  
■請願者 弓町区

※継続審査中の請願・陳情第 3 号農業用償却資産に対する固定資産税の免除に関する条例制定を求める請願は、令和 8 年 4 月 7 日付で請願者より取り下げがありました。

## 東小学校体育館現地確認

東小学校体育館の天井部分が老朽化により崩落の危険性があることを受け、厚生文教常任委員会の委員が現地確認に伺いました。

現地では、校長や教育委員会担当者立ち会いのもと、現状について説明を受けました。

6 月議会最終日に、改修工事の施工に向けた実施設計業務を委託するための補正予算が追加議案として提出され、可決しました。



## 議決結果表

※案件名は、一部省略し掲載しています。

| 議案番号             | 案 件 名                                                                 | 採決結果 |
|------------------|-----------------------------------------------------------------------|------|
| <b>市長提出議案</b>    |                                                                       |      |
| 28               | 令和8年度杵築市一般会計補正予算（第1号）                                                 | 可決   |
| <b>市長提出議案 報告</b> |                                                                       |      |
| 3                | 専決処分の承認を求めることについて<br>（令和7年度杵築市一般会計補正予算（第12号））                         | 承認   |
| 4                | 専決処分の承認を求めることについて<br>（令和7年度杵築市ケーブルテレビ事業特別会計補正予算（第5号））                 | 承認   |
| 5                | 専決処分の承認を求めることについて<br>（令和7年度杵築市国民健康保険特別会計補正予算（第3号））                    | 承認   |
| 6                | 専決処分の承認を求めることについて<br>（杵築市税条例の一部を改正する条例）                               | 承認   |
| 7                | 専決処分の承認を求めることについて<br>（杵築市税特別措置条例の一部を改正する条例）                           | 承認   |
| 8                | 専決処分の承認を求めることについて<br>（杵築市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担額に関する条例の一部を改正する条例） | 承認   |
| 9                | 専決処分の承認を求めることについて<br>（杵築市国民健康保険税条例等の一部を改正する条例）                        | 承認   |

## 主な議案

### 令和8年度杵築市一般会計補正予算（第1号）

物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金に基づく事業で、総務費、農林水産業費、商工費において、7,525万円を追加補正。

## 新副議長就任

令和8年5月8日、坂本哲知副議長の辞職に伴い、新たに工藤壮一郎議員が第20代副議長に選ばれました。

### 工藤 壮一郎 副議長就任あいさつ



このたび、5月の臨時会で副議長を承りました工藤壮一郎です。杵築市は豊かな自然と歴史的なまち並みを兼ね備えた地域であり、今後の発展には可能性を秘めています。今一度、本市の利点をしっかりと見つめ直し、更なる発展に向け新たな施策に取り組み、活力あふれるまちを目指して、スピード感をもって具現化していくよう働きかけてまいりたいと考えます。また議長の補佐をしっかりと務め、開かれた議会を議員一丸となって実現できるよう努力してまいります所存です。1年間よろしくお願いいたします。

## 議員研修会



令和8年6月8日（月）本会議終了後、藤原英爾氏（市内在住）をお招きし、市場の動向について研修を行いました。証券業界で培ったノウハウや、現在の世界情勢や本市の現状など、幅広く講演をしていただきました。

# 行政視察

## 産業建設常任委員会

令和8年7月1日(水) 岐阜県美濃市

令和8年7月2日(木)・3日(金) 三重県桑名市

美濃市では「古民家再生によるまちづくりの取り組み」をテーマに視察を行いました。美濃市の取り組みは、中心市街地や歴史的なまち並みに点在する空き家・古民家を「官民連携」によりリノベーションし、観光・宿泊・商業施設として再生、地域の活性化や空き家対策が、全国的にも高く評価されています。行政だけでなく住民や企業なども巻き込みながら、人との繋がり（連携）が非常に重要であると感じました。

桑名市では、赤須賀地域水産業再生委員会の「浜の再生活性化プランの取組」が令和7年度浜の活力再生プラン全国推進会議において、農林水産大臣賞を受賞しました。

本市もアサリなどの水産振興や漁場再生の取り組みを行っているので、議会としても検討や提言を行っていきたいと感じました。



岐阜県美濃市



三重県桑名市  
赤須賀漁協集荷場内（砂抜き場：漁協買い取り分）

## 議会活性化委員会

令和8年7月6日(月) 広島県三原市

令和8年7月7日(火) 山口県山陽小野田市

三原市では「常任委員会単位における政策提言の取り組みと運営スキームについて」をテーマに視察を行いました。常任委員会の任期である2年間をかけ、市の課題について調査研究を行い、解決策を決議案として本会議へ上程・可決後、市長へ送達（政策提言）する仕組みを構築していました。

山陽小野田市では、議会カフェや市議会モニター制度の取り組みを視察し、「市民の声をダイレクトに政策に変える広聴循環型スキーム」の真髄を学ぶことができました。

今回の視察で得たノウハウを今後の議会活性化委員会の活動に活かしてまいります。



広島県三原市



山口県山陽小野田市

## 市民との意見交換会 (予告)

令和8年度は、杵築中学校、宗近中学校、山香中学校、杵築高等学校と日出総合高等学校の生徒と意見交換会を予定しています。実施の様子は議会だよりでお知らせします。

## 議員勤続表彰

全国市議会議長会第102回定期総会(5月27日開催)において、岩尾育郎議員が在職15年の勤続表彰を受けました。



### 岩尾育郎議員

**初当選年月日** 平成19年4月

**議員経歴** 市議会副議長

**現在** 総務常任委員会委員、議会運営委員会委員、  
別杵速見地域広域市町村圏事務組合議会議員



## ご意見をお寄せください！

議会だよりを読んで、感じたことや聞きたいことをぜひともお寄せください。より開かれた議会づくりの一環として、市民の皆さんのご意見をお待ちしております。

「きつき市議会だより」のさらなるバージョンアップにご協力をお願いします。

## 定例会日程

### 令和8年 第3回定例会(案)

※正式な日程は  
議会運営委員会で決定します

|                       |
|-----------------------|
| 8月25日(火) 開会           |
| 9月1日(火) 一般質問          |
| 9月2日(水) 一般質問          |
| 9月3日(木) 一般質問(予備日)     |
| 9月7日(月) 決算特別委員会(総務)   |
| 9月8日(火) 決算特別委員会(厚生文教) |

|                       |
|-----------------------|
| 9月9日(水) 決算特別委員会(産業建設) |
| 9月11日(金) 産業建設常任委員会    |
| 9月14日(月) 厚生文教常任委員会    |
| 9月15日(火) 総務常任委員会      |
| 9月18日(金) 閉会           |

## 編集後記

広報広聴委員会は、この「きつき市議会だより」の編集・発行の他に、年1回の「市民との意見交換会」の企画・運営も行っています。過去には、杵築・山香・大田の地区単位での開催や、各住民自治協議会単位での開催などを行い、市民の皆さんのご意見をまとめて市長に提案書として提出してきました。令和6年度は、「中高生との意見交換会」を各学校単位で開催させていただきましたが、多くの学校が数名で班を作り提案や要望をまとめてプレゼンテーションしてくれ

ました。プレゼンテーションの資料はもちろん、説明自体も社会人顔負けで感動したことをいまだに覚えています。これらの内容も市長に提案書として提出しました。また議員が一般質問などでも取り上げて、実現できた提案もありました。少子高齢化が進むなか、「杵築市に住んでいる若い人たちが残りなくなる杵築市」にするために、広報広聴委員会として幅広い市民の皆さんのご意見を聞いてまいります。

広報広聴委員会 多田 忍



### 今号の表紙

地域の盆踊りのため、太鼓の練習をしている親子の様子です。世代を超えてふるさとのために汗をかく姿に、心が動かされました。